

2025年2月27日

News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号: 8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

株式会社日本政策投資銀行による環境格付に基づく融資のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社日本政策投資銀行（東京都千代田区、代表取締役社長 地下誠二、以下「DBJ」）が実施する環境格付において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得し、環境格付融資を受けましたのでお知らせいたします。



当社は、2025年2月日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、
格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

芙蓉リースの最高ランクの格付取得は13回連続となります。今回の格付では特に次の点がDBJより高い評価を受けています。

- (1) C S V推進委員会を中心としたグループ横断的な環境マネジメントを堅実に継続していることに加え、国内外の最新動向を反映した各種環境教育・研修により従業員の意識啓発に努めているほか、独自の環境配慮サービスの提供を通じて顧客の意識醸成も図りながら環境貢献に精励している点

(2) 長期かつ広範な社会環境変化を踏まえ策定した 2030 年のありたい姿やマテリアリティと有機的に接続した中期経営計画に基づき、選択と集中を進める事業ポートフォリオ運営を行うことで、社会課題解決と企業価値向上の同時実現を図る C S V 経営を着実に実践している点

(3) 製品寿命の長期化や資源再生の向上に寄与する芙蓉サーキュラーエコノミーリース等のサービス拡大に注力するとともに、リユース・リセール機能を一層強化すべく「Fuyo リユースセンター」を新たに開設するなど、マテリアリティの 1 つである循環型社会実現への貢献に向け、リース事業の特性を活かしながら多面的な取り組みを推進している点

芙蓉リースグループは、C S V (Creating Shared Value : 共有価値の創造) の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しています。今後もグループ一体となって気候変動問題や資源循環に関する取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 山崎

電話番号 03 (5275) 8891 URL : <https://www.fgl.co.jp/>